



大阪府の食育

大阪府では健康福祉部、環境農林水産部、教育委員会が相互に連携し、子どもから高齢者まで様々な対象に食育活動を行っています。



健康福祉部

- 食育推進プロジェクト
- 食環境づくり推進事業
- 健康おおさか21推進事業
- 食品衛生にかかる消費者啓発
- 食生活指針、食事バランスガイド

プロの調理人と一緒につくろう！
野菜バリバリ
たこ焼き&お好み焼き



野菜バリバリ
朝食モリモリ
食育推進キャンペーン



ゲームや歌など、子ども向けグッズで学校の食育を支援！



大好評のコンビニヘルシー弁当

「おおさか食育通信」では食育事例の紹介、団体の紹介など役立つ情報満載！



食中毒について
塗り絵で勉強！



環境農林水産部

大阪府民牧場での体験学習



- 育てて食べよう野菜バリバリ推進事業
- 農業教育推進事業
- 食育推進事業
- 大阪を食べよう推進事業
- 食べ残し削減、再利用普及啓発
- 食生活指針、食事バランスガイド

親子食育塾



大阪産の魚介類をPR



育てて食べよう野菜バリバリ推進事業



教育委員会

栄養教諭実践モデル校の授業風景



- 栄養教諭実践モデル校事業
- 栄養教諭育成講習事業
(栄養教諭免許法認定講習)



大阪府食育推進計画

毎月19日は食育の日

ダイジェスト版

8月は大阪府の「食育推進強化月間」



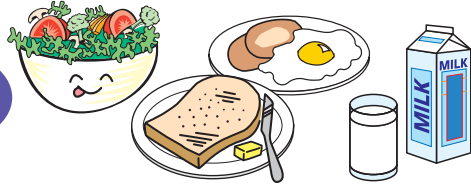
平成19年8月
大阪府

朝食はしっかり食べましょう!

和食



洋食



野菜バリバリ朝食モリモリ

さあ! みんなで実行! 7つのポイント

食育の日には、ふだんの食生活を見直してみましょう。

野菜バリバリ!
野菜は朝・昼・夕で
1日5皿
食べましょう!

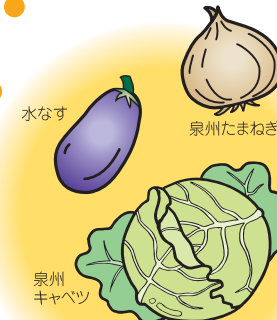


朝食モリモリ!
早起きして
朝ごはんをしっかり
食べましょう!

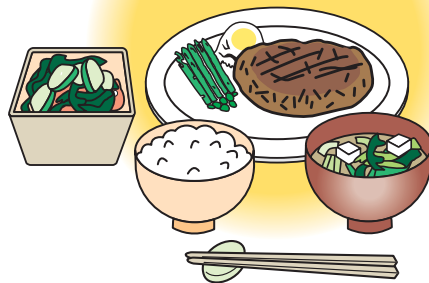
食べる前に
せっけんで
ていねいに
手を洗いま
しょう!



「いただきます」
「ごちそうさま」
のあいさつで、
感謝の気持ちを
忘れずに!



食事は残さず
食べましょう!



大阪で作られた
農産物や加工品を
どんどん食べましょう!



「食事バランスガイド」で
1日の食事をチェックして、
朝・昼・夕バランスよく
食べましょう!

主食・副菜・主菜をそろえて!

朝食をとらないと、夕食や夜食でとる食事の量が増え、肥満につながる一方、副菜5つを1日にとりきることがむずかしくなります。主食・副菜・主菜各1つ(SV)のお手軽なバランス朝食を習慣にしましょう。



大阪で作られた農水産物や加工品を食べましょう

大阪で作られた農水産物や加工食品がたくさんあります。新鮮で安心な「大阪産(おおさかもん)」を食べましょう。

■「大阪産(おおさかもん)」の主なもの

★なにわ特産品

大阪府内で生産されている主要な農産物
泉州水なす、大阪えだまめ、大阪ぶどうなど21品目

★なにわの伝統野菜

おおむね100年前から大阪府内で栽培されてきた
伝統的な野菜
田辺大根、天王寺蕪、毛馬胡瓜など15品目

★エコ農産物

従来の栽培に比べて農薬と化学肥料の使用を半分
以下にして生産した大阪府が認証する農産物で、現在、
68品目で基準が設定されています。

★大阪府Eマーク食品

地域の原材料や技術にこだわり、大阪府内で製造さ
れた地域特産の加工食品で、水なす漬、なにわワイン
など14品目が認証されています。



大阪産の農林水産物や加工食品をよく知ってもらうため、「おおさか食べ歩き推進協議会」では、これらを「大阪産(おおさかもん)」としてPRをしています。

大阪府の農産物データ

- ★米の生産量 30,600t(H18)
- ★野菜・果樹の生産量(全国順位の高いもの)

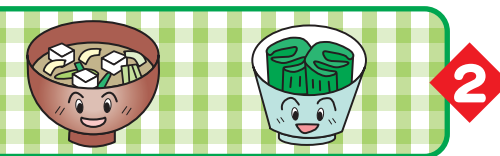
しゅんぎく 4,280t (全国2位)	みつば 734t (同 7位)
ふき 1,010t (同 3位)	たで 23t (同 2位)
こまつな 4,870t (同 5位)	ぶどう 5,710t (同 7位)
実えんどう 295t (同 3位)	うちでらウエア 4,900t (同 3位)
くわい 18t (同 4位)	いちじく 680t (同 6位)
- ※実えんどう、くわい、たで、いちじくは平成16年、他は平成18年のデータ
- ★大阪エコ農産物生産面積 276.7ha(H18年度)
- ★直売所設置箇所数 134カ所(H18年6月現在)

野菜1日5皿食べましょう! 1・2・2

朝



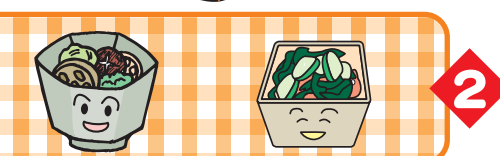
昼



おやつ



夕



子ども(小学生・中学生)300g おとな350g

学校給食を
活用して
子どもの望ましい
食習慣の形成を
図ります。



大阪府食育推進計画の推進体制

大阪府の背景

ライフスタイルの変化

ライフスタイルが多様化したことにより、朝食の欠食、間食や夜食の増加など食事の偏りや食習慣の乱れを生み出している。また、核家族化の進展も加わって食事をとる時間が異なり、結果として一人で食事をとる「孤食」や、それぞれが好きなものをばらばらに食べる「個食」が増えて、子どもの好き嫌いを助長していると指摘されている。

食の国際化と伝統食の変化

大阪府では、世界各国の料理を提供する飲食店も増えて、誰もが世界各地の料理を味わうことができるようになった。一方で、地元で取れた食材を活かした伝統食は、食材の作り手や家庭での伝統食の作り手はともに減少している。

生活習慣病の増加

大阪府では平均寿命の伸びが鈍化し、生活習慣病の発症は食生活と関連が深く、特に野菜と果物の摂取が多いほど発症のリスクが低減されることが明らかになったが、府民の野菜摂取量は全国平均より少ない状況である。

食の生産体験の希薄化

急速な都市化の進展に伴い、農地や水辺などが減少し、生産の場から食卓までの距離が離れ食の生産現場に対する基本的な理解が難しくなっている。

食の安全・安心への関心の高まり

大阪府では食の安全と安心の確保について基本的な考えを明らかにした「大阪府食の安全安心推進条例」を制定し、府民の健康を保護するため総合的で計画的な施策を推進している。

食育をめぐる国の動き

国は、平成17年7月食育基本法を施行し、これに基づいて平成18年3月に食育推進基本計画を策定した。同計画では、推進の目標値として平成22年度までに全ての都道府県が食育推進計画を作成・実施することを掲げている。

主な現状・課題

- 大阪府は全国平均より野菜の摂取量が少なく、特に子どもの摂取量が少ない。
- 朝食欠食率は20歳代男性や15～19歳女性など若年世代で全国平均より高い。
- ★朝食を食べない小学生は学年が上がるにつれて増加傾向にある。
- 小学校6年生までに、47.1%の児童がう蝕(むし歯)になっている。
- 食に関する情報が氾濫し、正しい情報の選択が困難となっている。
- ▼農地の減少等により、生産・流通等を体験する場や機会が減少している。
- ▼大阪産農産物の関心は高いが、認知度は低く、広く府民に知られていない。
- ★学校に栄養教諭を配置し、モデル的に実践研究を行っている。
- ◆大阪府内の保育所では、栽培体験、調理体験などの取組が積極的に行われている一方で、伝統的な食事に関わる体験などの実施率は低い。

- ：健康分野
- ：食の安全・安心
- ▼：生産分野
- ★：教育分野
- ◆：保育分野

計画のポイント

計画期間

平成19年度～23年度までの5年間

基本方針

- 府民運動としての推進
- 食育推進のネットワークづくり
- 子どもに重点をおいた取組
- 歯と口の健康づくりと連携した推進
- 情報の発信

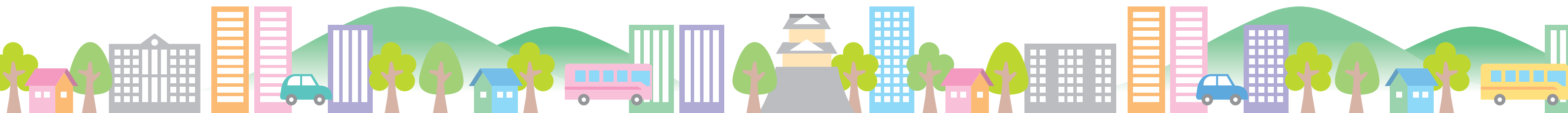
計画の目標

【現状値→目標値】※大阪府が独自に設けた目標値

- ①「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている府民の割合【24%→60%】
- ②朝食欠食率(7～14歳)【4.0%→0%】
- ③野菜摂取量(7～14歳)【210g→300g】※
- ④食育に関心を持っている府民の割合【89%→95%】
- ⑤食育推進に携わるボランティアの数【3,400人→4,100人】
- ⑥メタボリックシンドロームの認知率【52%→80%】
- ⑦食の安全性に関する正しい知識を持つ府民の割合【→70%以上】
- ⑧学校給食への大阪産農産物(米・野菜・果樹)の利用割合の増加【6%→10%】
- ⑨教育機関等における食の生産体験活動を実施する市町村の割合【81%→100%】※
- ⑩食育推進計画を策定している市町村の割合【0%→60%】
- ⑪食に関する指導の全体計画を作成している小学校の割合【32%→100%】※
- ⑫「うちのお店も健康づくり応援団」協力店の数【7,112店舗→10,000店舗】※

食育推進のためのネットワークづくり

(大阪府食育推進ネットワーク会議等)



大阪府食育推進計画の推進体制

食育推進ネットワーク



計画の総合的な推進

【府民運動としての推進】

- 大阪府食育推進計画の普及啓発
- 食育推進ネットワークづくりの充実
- 「食育推進強化月間」(8月)及び「野菜バリアリ朝食モリモリ」推進の日(19日)の設定
- 「みんなで広げよう! 食育フェスタ」の開催
- 食育推進ホームページ「おおさか食育通信」による情報提供
- 食に関するボランティア等の食育活動への支援
- 大阪府食の安全安心推進条例との連携

【家庭や地域における食育の推進】(学校や保育所等においても推進)

- 学校や保育所等を通じた保護者への推進
- 市町村保健センター等を通じた妊産婦や乳幼児への推進
- 専門的知識を有する人材による推進
- 食に関するボランティア等による郷土料理や伝統食の推進
- 食の安全・安心に関する正しい情報の提供
- 歯と口の健康づくりと連携した推進

【学校や保育所等における食育の推進】

- 学校における計画的な教育活動による推進
- 保育所における推進
- 保健所による健康面から支援

【生産者と消費者との交流の促進】(学校や保育所、地域等においても推進)

- 生産者と消費者とをつなぐ食育推進方針の策定
- 食の生産・流通に関する体験・交流活動の推進
- 大阪産農林水産物の地産地消の推進

【食の環境整備】

- 「うちのお店も健康づくり応援団」協力店の推進
- 大阪版PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)による行政と民間が連携・協働した推進
- 「健康おおさか21・食育推進企業団」等による推進
- 特定給食施設等における推進

